

### 13. タイムテーブル詳細

○ 時刻は大まかな目安です。時間に余裕をもってご入室ください。

○ 事前視聴されて、12月8日(水)・9日(木)は事前視聴がない部分のみ入室されることも可能です。

#### 【12月4日(土)～】

大会専用サイトから、講演資料のダウンロード、および、講演等の事前視聴・質問記入が可能です。

#### 【1日目 12月8日(水)】

時刻	長さ (分)	内容	事前 視聴
12:30		Zoom 入室可能	
13:00		開会式	
		①主催者挨拶	○
		②来賓挨拶	○
		その他 事務連絡	無
13:45		基調講演 『発達障害』のある人が感じる世界	
13:50	75	③[当事者の立場] 広野 ゆい 氏 (NPO 法人 DDAC (発達障害をもつ大人の会))	○
15:05	10	休憩	
15:15	65	④[医師の立場] 吉川 徹 氏 (愛知県医療療育総合センター中央病院 子どものこころ科(児童精神科))	○
16:20	10	休憩	
16:30	30	⑤質疑応答	無
17:00		事務連絡 終了	

#### 【2日目 12月9日(木)】

時刻	長さ (分)	内容	事前 視聴
8:45		Zoom 入室可能	
9:15		シンポジウム「縦の連携：生涯を支える」	
9:20	30	⑥行政説明 加藤 永歳 氏 (厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 障害児・発達障害者支援室 発達障害対策専門官)	○
9:50	10	休憩	
10:00	30	⑦行政説明 加藤 典子 氏 (文部科学省 初等中等教育局 特別支援教育課 特別支援教育調査官 (発達障害専門))	○
10:30	10	休憩	

10:40	45	⑧シンポジウム・質疑応答 進行 石井 啓 (本協会副会長)	無
11:30	30	⑨閉会式 → 一旦切断	無
12:00	60	休憩	
12:45		Zoom 入室可能	
13:00	120	分科会 第1分科会 行動障害の支援 第2分科会 横の連携：地域で支える 第3分科会 感染症や災害に関する利用者支援と施設運営 (詳細下記)	
15:00		終了	

### 第1分科会 行動障害の支援

(開催担当：「杉の郷」「杉の郷えぼし寮」「日置川みどり園」)

1993年の強度行動障害特別処遇事業以来、国により様々な制度や施策が展開されてきましたが、いまだにそれらの支援の恩恵を受けずに地域で生活されている強度行動障害者とその家族がおられるという現実があります。

また、2013年からは国の強度行動障害支援者養成研修が各都道府県単位で実施され、我々支援者の立場からも支援力の向上と人材育成の取り組みがなされています。そもそも強度行動障害者支援においては、本人を巡る環境の調整と時間をかけた専門的な対応が必要であることは誰もが認めるところです。そして、その目的は、行動障害を改善するばかりでなく、一人の人間として地域で暮らしていける力をつけることでもあります。

本分科会では、2施設からの発表と、講師兼助言者として、鳥取大学の井上雅彦教授をお迎えします。先生の研究・実践の成果をご紹介いただき学ばせていただくとともに、アセスメントベースの支援のあり方、地域や家庭への支援展開の方法等について、議論を深め、皆様と共有したいと思います

時刻	長さ (分)	内容	事前 視聴
12:45		Zoom 入室可能	
13:00	5	ケース発題 (分科会の趣旨説明 開催担当施設)	
13:05	25	⑩「めぶき園における行動障害への取り組み ～地域での暮らしを目指して～」 障害者支援施設めぶき園 (大分県) 支援係長 能一 由起子 氏	○
13:30	30	⑪「兵庫県強度行動障害地域生活支援事業の取り組み ～住み慣れた地域で暮らしていくために～」 障害者支援施設あかりの家 (兵庫県) 部長 亀山 隆幸 氏 課長補佐 中西 多美 氏	○

14:00	5	休憩	
14:05	20	⑫助言（ケース発題に対するコメント） 鳥取大学大学院医学系研究科 臨床心理学講座 教授 井上 雅彦 氏	○
14:25	35	⑬講演「アセスメントの実践への活用 ～アセスメントアプリについて～」 井上 雅彦 氏	○
15:00	15	⑭質疑応答 登壇者、助言者、開催担当施設	無

## 第2分科会 横の連携～地域で支える～

(開催担当：「萩の杜」「ジョブサイトよど')

大会趣旨にもあります様に、私達には行動障害のある方々の地域での暮らしを支える支援力や社会資源の整備が求められており、先駆的な事例も増えてきました。

しかし行動障害のある方々が地域で安心して暮らしていくためには、まだまだ課題も多く社会資源をコーディネートする役割や支援力向上の為の人材育成をより一層進めていく必要があります。

本分科会では、行動障害のある方々の地域での暮らしをサポートするために必要な資源の整備や体制の構築および人材の育成について、大阪府の「重度知的障がい者地域生活支援体制整備事業」の実践報告及び長野県の社会福祉法人高水福祉会の地域生活支援の実践を通して、今後の支援の在り方について皆様と深めていきたいと考えております。

時刻	長さ (分)	内容	事前 視聴
12:45		Zoom 入室可能	
13:00	5	趣旨説明 本協会会長 松上 利男	
13:05	25	⑮大阪府重度知的障がい者地域生活支援体制整備事業について 社会福祉法人北摂杉の子会 相談支援・人材育成研修部部长 山根 和史 氏	○
13:30	25	⑯実践報告～地域生活支援拠点づくり～ 社会福祉法人高水福祉会 常務理事 野口 直樹 氏	○
13:55	5	休憩	
14:00	50	⑰シンポジウム 厚生労働省 発達障害対策専門官 加藤 永歳 氏 大阪府 福祉部 障がい福祉室 山田 安宏 氏 社会福祉法人北摂杉の子会 山根 和史 氏 社会福祉法人高水福祉会 野口 直樹 氏 (進行) 本協会会長 松上 利男	無
14:50	10	⑱質疑応答・まとめ	無

第3分科会 「災害が起こったら…何をすべきか？」  
 備えはどうあるべきか…何を備えるのか？」  
 「感染症から利用者を守るには何をすべきか？」  
 ～利用者を守る災害や感染症に強い事業所になるために・  
 被災事業所から学ぶべきこと～  
 (開催担当：「京北やまぐにの郷」「永寿の里 彩羽」)

近年、全国各地において地震や台風による風水害や新型コロナウイルス感染症によるクラスター感染と様々な災害や感染症から予期せぬ状況で平穏な暮らしを一変させてしまいます。

利用者の命と暮らしを守るため、施設は発災時・発症時にチームで何を優先して、どのように対応すべきか？事業継続のため、何が必要か？また、今後、起こりえる災害や感染に対し、どのように備えを行うべきか？また、共生社会として、どのように地域と連携を構築していくのか等を考え直す機会としてこの分科会を企画しました。

けやきの郷にも助言いただいた同志社大学の立木先生にご登壇いただき、講演と助言をお願いしています。

全自者協加盟施設においても不幸にも被災された法人があります。法人の実体験は想像を絶する幾多の困難があったことと思います。この実体験を参加者全員が共有し、災害や感染に強く、利用者の命と暮らしを守れる支援者を目指して、共に学び合いたいと思います。

時刻	長さ (分)	内容	事前 視聴
12:45		Zoom 入室可能	
13:00	5	趣旨説明	
13:05		発題	
13:05	約 20	①風水害報告 社会福祉法人けやきの郷 初雁の家 施設長 水野 努 氏	○
	約 20	②地震災害報告 社会福祉法人三気の会 部長 松本 慎太郎 氏	○
	約 20	③新型コロナ感染報告 社会福祉法人なにわの里 ライフサポートなにわ 管理者 漆嶋 真一 氏	○
14:10	5	休憩	
14:15	50	④基調講演及び発題の助言 「災害や感染から命を守ることを考える」 同志社大学 社会学部教授 立木 茂雄 氏	○
15:05	10	⑤質疑応答	無